



2025 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 北 山 修 二
(コード番号 5660 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員 吉 田 裕 彦
(TEL. 06-6411-1051)

2026 年 3 月期中間連結会計期間の業績予想値と実績値との差異および
通期連結業績予想、配当に関するお知らせ

2025 年 8 月 7 日公表の 2026 年 3 月期中間連結会計期間の業績予想値と本日公表の実績値における差異の発生および 2026 年 3 月期通期連結業績予想、2026 年 3 月期配当につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期中間連結会計期間の業績予想値(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	17,370	50	50	170	28.77
今回実績 (B)	16,539	319	347	430	72.87
増減額 (B - A)	△ 831	269	297	260	
増減率 (%)	△ 4.8%	538.0%	594.0%	152.9%	
(ご参考) 前年中間連結会計期間実績 (2025 年 3 月期)	16,942	642	686	512	86.79

2. 2026 年 3 月期通期連結業績予想(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	36,600	950	950	800	135.37
今回予想 (B)	35,000	950	950	800	135.37
増減額 (B - A)	△ 1,600	-	-	-	
増減率 (%)	△ 4.4%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	34,293	1,167	1,235	1,034	175.04

3. 業績予想と実績値との差異の理由および通期連結業績予想について

中間連結会計期間においては、各セグメントにおける厳しい事業環境の継続等により、販売数量が減少し、売上高は減収となりましたが、人件費を始めとした諸コストの上昇に対する販売価格改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めた他、在庫評価影響もあり、中間連結会計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は予想値を上回りました。

なお、通期連結業績予想につきましては、中間連結会計期間以降も各セグメントにおいて低水準な需要の継続が見込まれることから、通期連結業績予想は上記の通り修正いたします。

4. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2025 年 5 月 12 日公表)	前期実績 (2025 年 3 月期 中間期)
基 準 日	2025 年 9 月 30 日	同左	2024 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	25 円	10 円	30 円
配当金総額	147 百万円	—	177 百万円
効力発生日	2025 年 12 月 8 日	—	2024 年 12 月 9 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

5. 配当予想の内容

	1 株あたり配当金 (円)		
基準日	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2025 年 5 月 12 日公表)	10 円	35 円	45 円
今回予想		20 円	45 円
当期実績	25 円		
前期実績 (2025 年 3 月期)	30 円	30 円	60 円

6. 配当(中間・期末)について

配当については、経営基盤の強化や将来の事業展開を勘案し、内部留保の充実を図りながら、連結配当性向 30～40% (年間) 程度の継続的な利益還元を目指すことを基本方針としております。

本方針に基づき、当期の中間配当は 1 株当たり 25 円とすることを本日開催の取締役会において決定いたしました。また、通期連結業績予想の修正に伴い、期末配当予想は 1 株当たり 20 円に修正いたしました。また、年間配当予想 (中間配当 25 円+期末配当 20 円=年間配当 45 円) に前回予想からの変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上